

2010年度
第1四半期決算
Conference Call

2010年8月9日
日本新薬株式会社



業績の状況（連結）

(百万円)

	2009年度		2010年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	15,782	100.0%	15,827	100.0%	45	0.3%
営業利益	2,123	13.5%	1,888	11.9%	△ 235	△11.1%
経常利益	2,248	14.2%	1,935	12.2%	△ 313	△13.9%
当期純利益	1,474	9.3%	1,341	8.5%	△ 133	△9.1%



医薬品売上の内訳

(百万円)

	2009年度		2010年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	12,249	95.3%	12,738	97.0%	489	4.0%
工業所有権等収益	17	0.1%	17	0.1%	0	2.8%
フルリフロキサシン原薬	526	4.1%	345	2.6%	△ 181	△ 34.3%
受託製造	64	0.5%	29	0.2%	△ 35	△ 54.8%
医薬品合計	12,856	100.0%	13,129	100.0%	273	2.1%

・キロサイド(8. 8% up)
(代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤)

・シアリス
(ED治療剤)

等の伸長・寄与

・ハイペン(18. 7% down)
(非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤)

・セレクトール(11. 7% down)
(血管拡張性 β_1 遮断薬)

等の減少

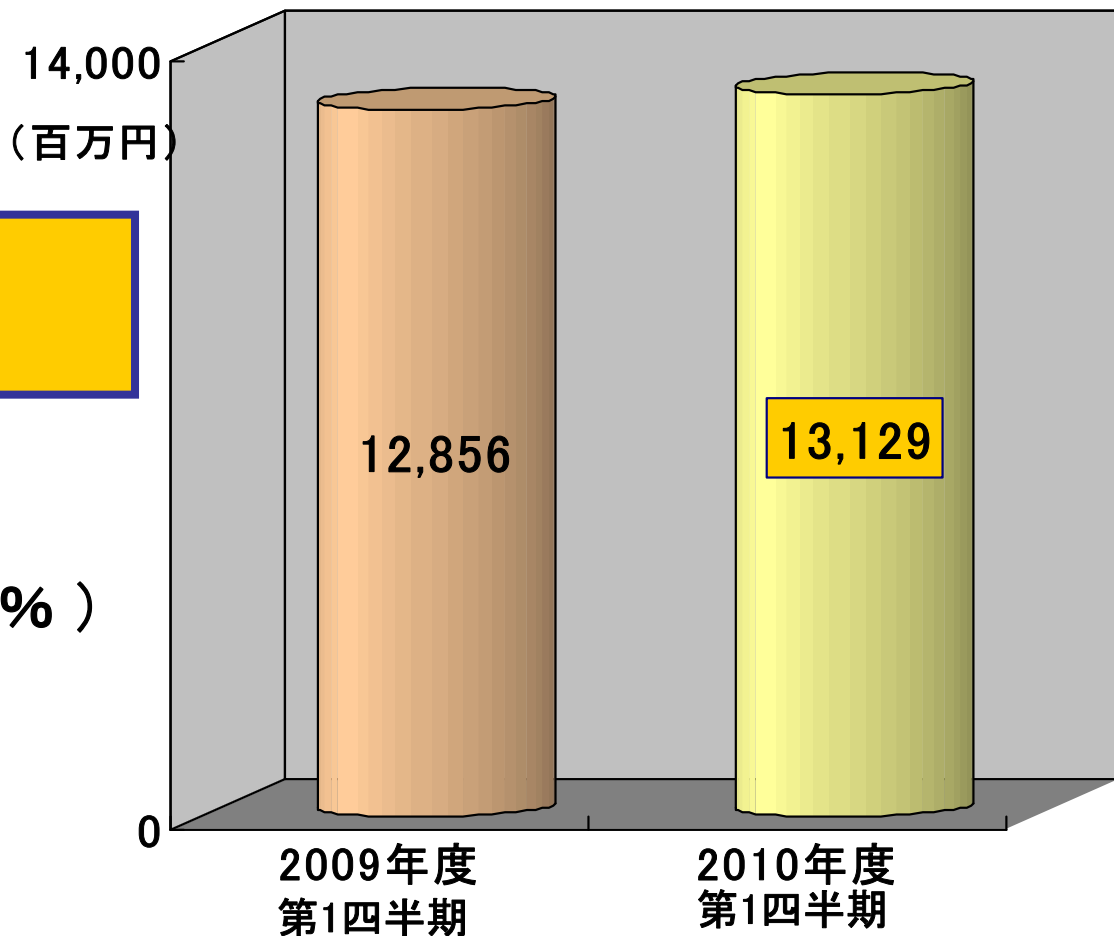


部門別業績推移 医薬品

実績 13,129百万円

対前年同期比

+ 273百万円(+ 2.1%)





機能食品売上の内訳

(百万円)

	2009年度		2010年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績	対前年同期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
健康食品素材	118	4.0%	123	4.6%	5	4.2%
品質安定保存剤	341	11.7%	353	13.1%	12	3.5%
たん白製剤	1,510	51.6%	1,442	53.4%	△ 68	△4.5%
ニュートリション素材	547	18.7%	411	15.2%	△ 136	△24.9%
その他	410	14.0%	369	13.7%	△ 41	△10.0%
機能食品合計	2,926	100.0%	2,698	100.0%	△ 228	△7.8%

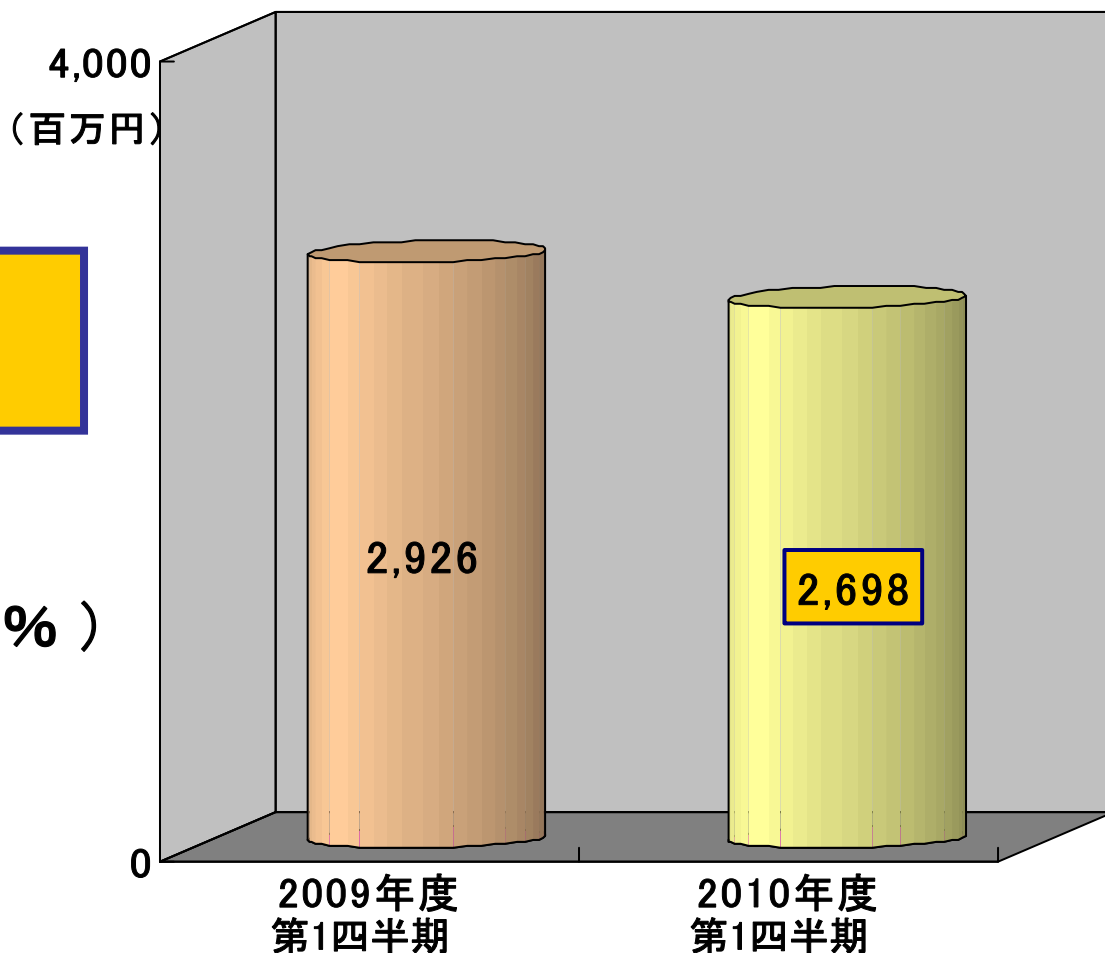


部門別業績推移 機能食品

実績 2,698百万円

対前年同期比

△ 228百万円 (△ 7.8%)

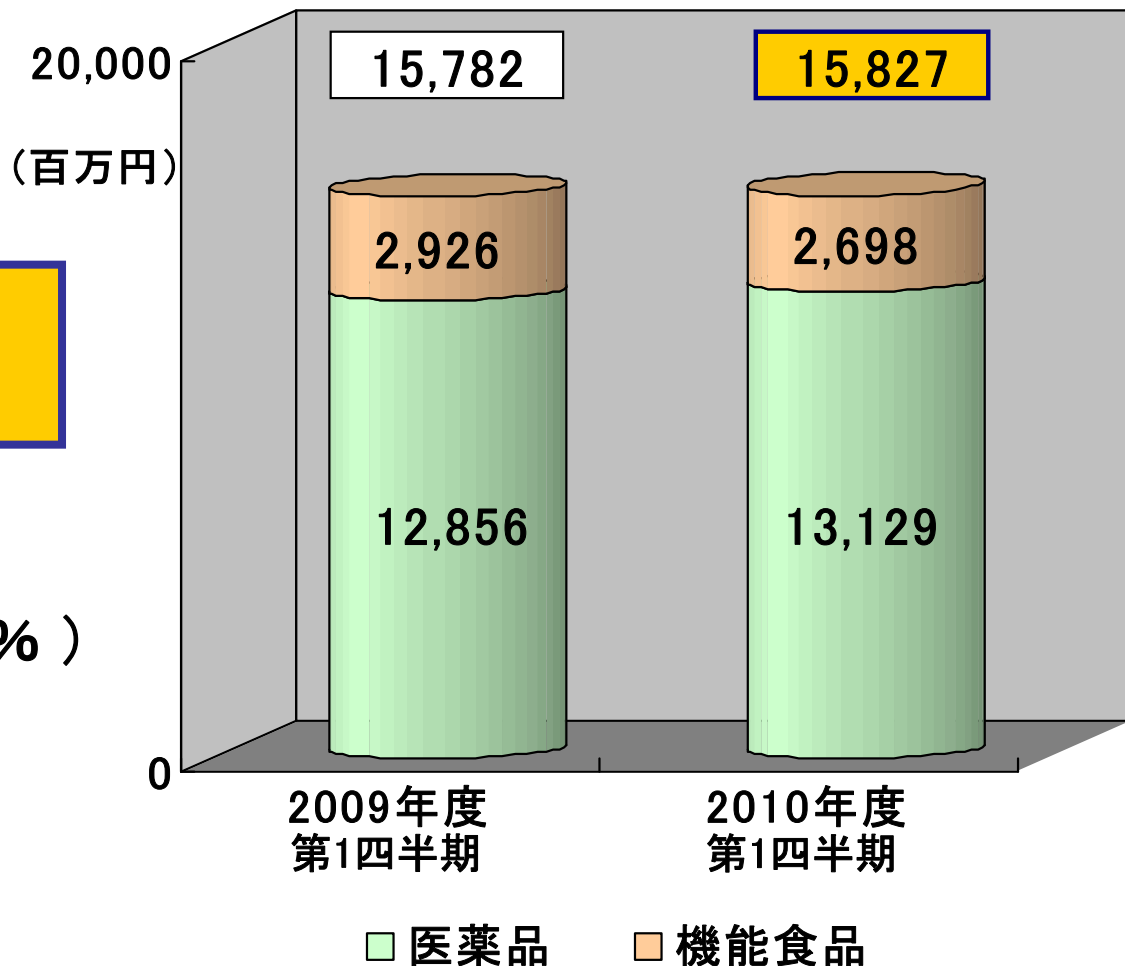




業績推移(連結)売上高

実績 15,827百万円

対前年同期比
+ 45百万円(+ 0.3%)





損益計算書 (連結) ①

(百万円)

	2009年度		2010年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	15,782	100.0%	15,827	100.0%	45	0.3%
(医薬品)	(12,856)	(81.5%)	(13,129)	(83.0%)	(273)	(2.1%)
(機能食品)	(2,926)	(18.5%)	(2,698)	(17.0%)	(△ 228)	(△ 7.8%)
営業費用	13,659	86.5%	13,939	88.1%	280	2.0%
売上原価	7,253	46.0%	7,264	45.9%	11	
返品調整引当金	戻入 17	△0.1%	戻入 25	△0.2%	8	
販売費及び一般管理費	4,613	29.2%	4,720	29.8%	107	
研究開発費	1,809	11.5%	1,979	12.5%	170	
営業利益	2,123	13.5%	1,888	11.9%	△ 235	△ 11.1%



損益計算書（連結）②

(百万円)

	2009年度		2010年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績	対前年同期比		
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	2,123	13.5%	1,888	11.9%	△ 235	△11.1%
営業外収益	264	1.7%	418	2.6%	154	58.3%
営業外費用	139	0.9%	371	2.3%	232	165.7%
経常利益	2,248	14.2%	1,935	12.2%	△ 313	△13.9%
特別損失	-	-	133	0.8%	133	-
当期純利益	1,474	9.3%	1,341	8.5%	△ 133	△9.1%



財政状況（連結）

（百万円）

	2009年度	2010年度			2009年度	2010年度	
	期末実績	第1四半期実績	増減		期末実績	第1四半期実績	増減
資産の部	103,575	103,186	△ 389	負債の部	23,205	23,076	△ 129
（流動資産）	59,474	60,753	1,279	（流動負債）	14,197	14,498	301
（固定資産）	44,101	42,432	△ 1,669	（固定負債）	9,007	8,577	△ 430
				純資産の部	80,370	80,110	△ 260
合計	103,575	103,186	△ 389	合計	103,575	103,186	△ 389

（増加）

資産の部 : 受取手形及び売掛金、繰延税金資産
 負債の部 : 賞与引当金
 純資産の部 : 株主資本

（減少）

投資有価証券
 未払金、繰延税金負債
 評価・換算差額等



キャッシュ・フローの状況（連結）

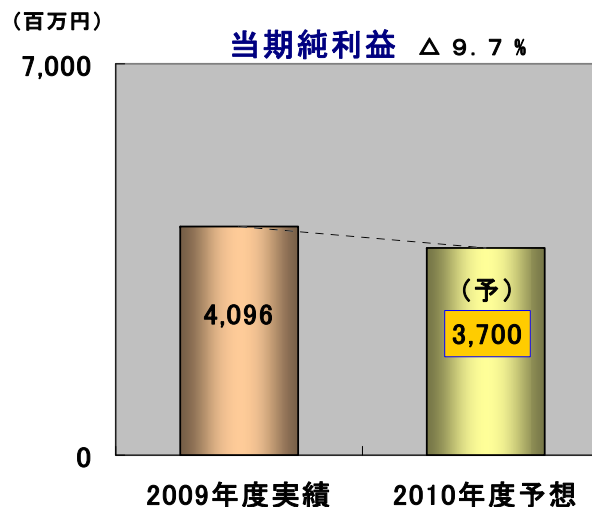
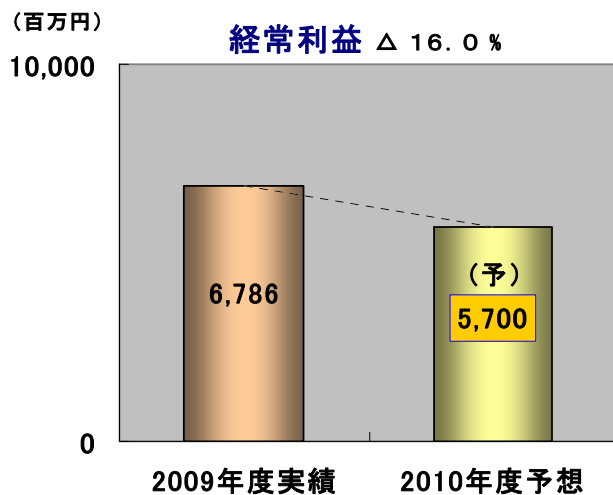
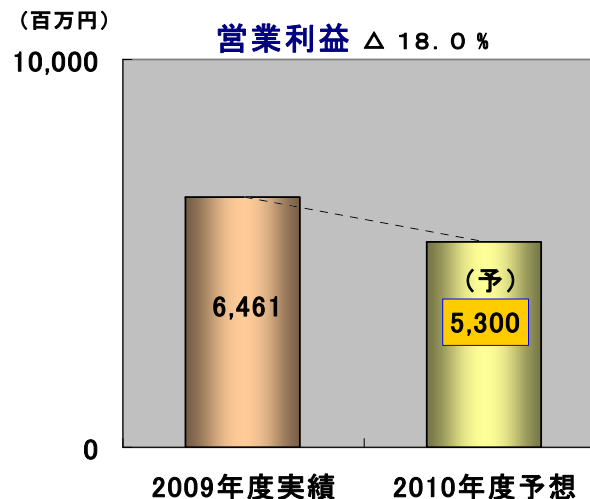
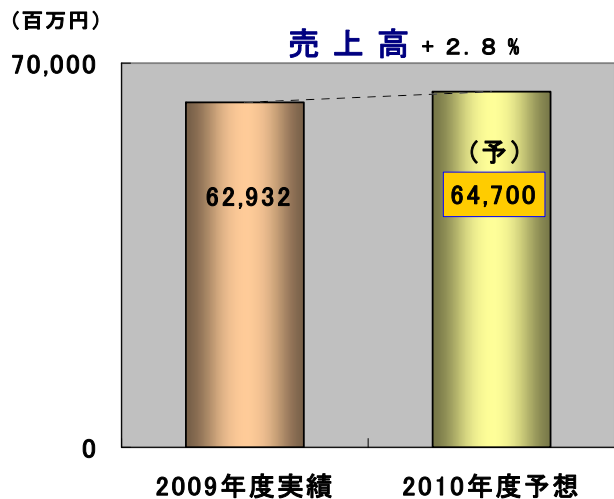
(百万円)

	2009年度	2010年度	2009年度
	第1四半期 実績	第1四半期 実績	実績
営業活動による キャッシュ・フロー	3,211	1,908	9,225
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,072	△ 1,096	△ 3,648
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 578	△ 630	△ 1,318
現金及び現金同等物の 期末残高	14,944	19,243	19,447

現金及び現金同等物の期末残高：有形固定資産の取得による支出の増加等により減少



通期業績予想(連結)



研究開発品目の進捗状況



新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2008	2009	2010	2011年度
NS-315 (トラムドール塩酸塩) (導入)	新投与経路	がん性疼痛	発売準備中	申請		承認 ●	
	新効能	慢性非がん性疼痛	PⅢ準備中		PⅡ	PⅢ予定	
NS-17 (アザシチジン) (導入)	新成分	骨髄異形成症候群	申請中	PⅡ	申請	承認予定 ●	
NS-11 (アカンプロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症	PⅢ		PⅢ		
LY450190 (タダラフィル) (導入)	新効能	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	PⅢ		日本イライリ		
NS-304 (セレキシパグ) (自社)	新成分	慢性血栓塞栓性 肺高血圧症	PⅡ		PⅡ	PⅢ予定	
		肺動脈性 肺高血圧症	PⅡ準備中			PⅡ予定	



新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2008	2009	2010	2011年度
ACT-064992 (マシテンタン) (導入)	新成分	肺動脈性肺高血圧症	P II 準備中				P II 予定 
NST-141 (自社)	新成分	アトピー性皮膚炎 に伴うそう痒	P I	P I		P II 予定	
NS-24 (トラマトール塩酸塩) (導入)	新剤型	がん性疼痛 慢性非がん性疼痛	P I 準備中			P I 予定	



新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症等	開発段階	2008	2009	2010	2011年度	
NM441 (プルリフロキサシン) (自社)	新成分	合成抗菌剤	韓国 発売 準備中	柳韓洋行社				
			US 申請 準備中	Optimer社 PⅢ	→	申請予定 ●	承認予定 ●	
			中国 PⅢ 準備中	Lee's Pharma社			PⅢ 予定	→
NS-304 (セレキシパグ) (自社)	新成分	肺動脈性肺高血圧症	US/EU PⅢ	Actelion社 PⅡ	→ PⅢ	→		
NS-187 (パフェチニブ) (自社)	新成分	B細胞性 慢性リンパ性白血病	US/EU PⅡ	CytRx社		PⅡ	→	
		慢性骨髄性白血病	US/EU PⅡ 準備中					
		多形性膠芽腫	US/EU PⅡ 準備中				PⅡ 予定	→
		進行性前立腺がん	US/EU PⅡ 準備中				PⅡ 予定	→



NS-315 (トラマール塩酸塩)

— 非麻薬性鎮痛剤 —

開発段階 : がん性疼痛 2010/07 承認
「トラマール®カプセル25mg」
「トラマール®カプセル50mg」
2010/09 薬価収載予定
慢性非がん性疼痛 PⅢ試験準備中

開発形態 : 国内自社
グリュンター社(ドイツ)から導入
(世界約100カ国で発売済み)

適用特 **応症** : がん性疼痛、慢性非がん性疼痛
法 : 4回/日
徴 :
・鎮痛作用強度はNSAIDsとモルヒネの中間
・モルヒネと比べると安全性が高い
・麻薬指定を受けていない



NS-187 (バフェチニブ)

—チロシンキナーゼ阻害剤—

開発段階: 海外 P II 試験

(B細胞性慢性リンパ性白血病)

開発形態: 2005/12、サイトレックス社(米国)へ導出
(日本を除く全世界)

作用機序: Bcr-Abl チロシンキナーゼ阻害および
Lyn チロシンキナーゼ阻害

適応症: B細胞性慢性リンパ性白血病
慢性骨髄性白血病
多形性膠芽腫
進行性前立腺がん

剤型: 錠剤

特徴: イマチニブ耐性変異体にも効果

将来見通しに関する注意事項

- ▶ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- ▶ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了ならびに中止、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関からの承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- ▶ また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- ▶ 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。